



熊本地震の被害が拡大し、心配な状況が続いています。このような震災が起こる度に、私たちが過ごしている日々の生活が当たり前ではないこと、どのようなことでも永遠に続くものではなく、一日一日をかみしめて大切に過ごさなければと、今こうしていただけることに感謝の念を抱かずにはいられません。皆さんはいよいよ学校生活の様々な場面で中心となり活躍すべき2年生となりました。進路別・科目選択別のクラスになり、そして、別々であった高入生と中入生が一緒になり、また新たな気持ちで新学期を迎えていることと思います。高校2年生は、受験生としてのスタートであると同時に、学校の中核を担って、クラスメイトと共に様々な活動に熱中できる一年でもあります。今、この瞬間を輝いて過ごすと同時に、将来の道を切り拓くために、仲間との共同生活のなかで、自らの人間力、社会性、学力を大きく伸ばす一年にして貰いたいと願っています。チーム 36 期 286 名、皆が楽しく充実した学校生活を送れるように、学年や教科、部活動の担当の先生達も全力で皆さんを応援します。

保護者の皆様には、昨年度一年間の教育活動へのご理解とご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

学年主任 宝田敏博

学年構成

組	担任	教科	研究日	副担任	教科	研究日
1	大村俊樹	数学	水	宝田敏博	理科	月
2	廣嶋伸道	社会	木	小林二千翔	理科	水
3	坂倉弘子	音楽	水	西塚伸吾	数学	金
4	古宇田大介	数学	水	門田優香	英語	月
5	佐藤栄一	英語	金	鈴木沙代子	体育	月
6	石井冲親	国語	金	門田優香	英語	月
7	堀端慎一	体育	金	荒牧孝一郎	社会	木

オーストラリア研修



昨年度の学年末考査期間中に宝田・佐藤でオーストラリア研修旅行の下見に行っていました。現地交流校(Redeemer Lutheran 校)との打ち合わせをはじめとした様々な箇所の確認、打ち合わせを行ってきました。現地の名門である Redeemer 校は芝浦柏との正式な姉妹校であり、毎年の我々の訪問を SHIBAKASHI DAY と呼び、大変楽しみにしております。我々も事前の準備をしっかりと行い、研修旅行を実りあるものに行いたいと思います。



出発日 先発6月14日(火)～19日(日)

後発 15日(水)～20日(月)

※17日(金)はRedeemer校との学校交流です。

服装・持ち物・かばんなど

本日保護者会にておおまかなものについて別紙プリントをお渡しいたします。詳細は後日、生徒を通じてご説明いたします。かばん、服装などについて、特別な準備は必要ありません。モートン島での2日間のデザートサファリ、ブッシュウォーク、アクティビティなどでは学年ジャージが中心になります。イルカの餌付け体験では学校ジャージのハーフパンツ(必要であれば学校の水着を中に着用)。また学校交流やホテルでの夕食(現地レストラン含む)、コアラサンクチュアリ、UQ(Univ. of Queensland)キャンパスツアー、ブリスベン市内研修、シドニー市内研修はすべて制服(冬服)になります。私服についてはホテルルーム内で必要な程度に限られます(ここの容量をいかに工夫して減らすかがポイントです)。



この他に必要な荷物は一般的な旅行に必要なもの(常備薬・下着・生活用品)、現地交流校生徒へのお土産(ちょっとしたもの)、アクティビティやスポーツ交流でのスポーツシューズ、雨具程度です。大きなスーツケースは必要ありませんし、担げるバック+手荷物でも十分かと思えます。

旅行中のお小遣いについて、オーストラリアドルへの両替は業者を通しては2万円分までのみを受け付けます。それ以外はお家庭での判断になりますが、必要以上の高額な金額を持たせることは控えていただきたいと存じます。

学習について

秋には科目選択が待っています!

いよいよ高2となりました。高2では文系、理系に分かれましたが、高3では、さらに志望校を見据えた科目選択をすることになります。大きくは次のことについて選択します。

文系

- ① 社会は世界史か日本史か、あるいは政治経済を自習するのか
- ② 数学は受験に使うのか、使うとすればどこまで(範囲・レベル)か
- ③ 理科を受験に使うのか、その場合、科目はどうするのか=たいていの場合、国公立を狙うかどうか
- ④ 社会は2教科使うのか=東大の地理、国立センター用の「倫理、政経」か、あるいは現代社会などの2単位科目でも受験可能なのか
- ⑤ そのほか、演習は学校でやるのか、それはどのレベルか

理系

- ① 理科は1科目にしぼるのか、2科目やるのか=国立はほとんど2科目です
- ② 数学はⅢまで使うのか=主に薬学、生物で大学により異なります。
- ③ 国語、社会を入試で使うのか=大抵の場合、国公立を狙うかどうか
- ④ 上記を含めて、それを3年生の授業コマで学習するのかどうか
- ⑤ そのほか、演習は学校でやるのか、それはどのレベルか

そもそも簡単な目安として、国立を目指す以上、文系でも理系でも5教科7科目が必要になります。もし、私立に絞るとするならば、3科目で済む可能性があります。本校の3年次は、進路に合わせて科目をしぼることができますので、これをきちんと見据える必要があります。口だけハイレベルを宣言しても、実際に実力がともなわないとするな

ら、それでも、3年生になって、何が何でも国立大学ならよいのですが、やってみてさっさとあきらめるなら、最初の口だけ、は余計な科目を増やすだけになります。

3年時に時間を有効に使うためには、2年次の12月の科目選択時には志望校やぼんやりとでもかまわないので、併願イメージが必要です。それだけでなく、自分の実力の見定めも必要となります。これが難しいのは、今の実力で決まるわけではなく、これからの「伸び」をいくらでも期待できるということです。しかし、「伸び」は「やる」「量」「質」という要素が必要であり、こればかりは、やってみなければわかりません。

というわけで、これからの半年、特に夏休みは、その試し期間です。伸び率に手ごたえがあれば、強気の作戦を組めますし、「やれない」のであれば、妥協せざるを得なくなります。

結論から言うと、理系では、英数理とともに、古典、地理の比重が大きいのが2年生です。なぜなら、早慶を理系で狙うのはかなりハイレベルだからです。それに比べて、筑波、千葉大などは、古典、地理などの準備を怠らなければ、早慶よりははるかに狙いやすいと思われれます。ただし、3年生になると、数学と理科に大きく時間を割かれますので、古典や地理をやり直す余裕がなくなります。2年次に授業レベルでかまわないので、きちんと古典、地理などの学習をしておくことが進路達成の条件です。

文系は、ハイレベルに行けば行くほど、数学や小論文の負担が大きくなりますので、理系同様、まずは数学を使う気持ちで臨むことが重要です。さらに、文系は、1科目でも苦手があると合格がとれません。理系が合格最低30%ぐらいの科目がまれに紛れ込むのに対し、早稲田法や政経では75%、MARCHでも70%程度と合格最低点が高いからです。科目負担が低い分、完成させることが要求されますので、早期の苦手克服が重要です。なお、河合模試では、各科目の偏差値の平均を、総合に使っているため、得意科目を持っている場合、判定が適切に出ない可能性、すなわち苦手があるのにそれが隠れている状態になっています。

高2は青春の真ん中です！

とはいえ、これからの2年間は、クラブ、学校行事、友人、趣味、など、多忙を極めるに違いありません。もちろん、勉強してもらわなければ困るのですが、しかし、優先順位が一番、二番がクラブや友人であることはなんらおかしいことではありません。



こうした現実を考えた時、まず、最も重要なのは授業です。授業は週34時間です。保護者の方の中には「補習」や「塾」が学習時間であると考えている方もいるように感じますが、まずは授業です。授業の中にも問題演習も受験的な要素も全てつまっています。放課後のたまの1時間の補習の前に、毎週の数時間の授業の方が大事です。

たとえば、書いて覚えるのであれば、2冊ノートを書くぐらいの気概が必要です。黒板を写す、の前に、覚える、という気概も必要です。自分があたっていないからと考えずに、友達の答えを聞いてしまう、まして、先生の正解だけを聞いているようでは話になりません。

もちろん、これは「心構え」ですから、それが難しい、うちの子には無理、無理やりでもやらせたい、という気持ちはわかります。では、塾に行ったとして、この問題は解決するでしょうか？塾に行っても意味がないなどというつもりは全くありませんが、少なくともこの「心構え」「結局は本人」という部分は塾に行かせることでは解決しません。塾で効果をあげるためにも、大前提となる学校の授業を受験勉強としてとらえる意識が重要です。

とはいえ、いくら授業に集中しても、学習時間は、最低でも、「1日2時間」を目標にしなければなりません。

1日2時間＝週14時間

高校生の現実を考えた場合、クラブや習い事、大きな趣味を持っている場合、毎日、連続した2時間を確保することは困難でしょう。ということは次のいくつかの事項で考えるしかありません。

第一にスキマ時間を組み合わせること。今年から登校時間が8:45になりましたが、8:25には担任が教室に行き、教室は自習の場所とすることにしました。これだけでも毎日20分、もうちょっと早く来れば30分以上の学習時間が確保できます。電車の中の10分、家に着いてすぐの10分、昼休みや放課後の10分など、あつという間に1時間を確保し、残りの1時間をなんとか毎日作ればよいことになります。

第二に、この1時間さえ、疲れて眠るとするなら、それは週末にまとめて学習時間をとるという方向になるでしょう。トータルで14時間、スキマが使えれば7時間ですから、3時間ずつぐらいはなんとかできそうです。

第三に、この週末もクラブでできません、という話になるなら、戻って平日に確保するしかなさそうです。しかし、

疲れて眠ってしまう・・・ということなら、次は朝に1時間確保するという結論になります。起きた直後よりは、時間をおいた方が効果的でしょうから、1番バスで登校し、集中するということになるでしょう。

それも無理、朝練習をしたいし・・・となるのは、好ましくありませんが、妥協をするなら、そういう生徒こそ、人の2倍、3倍の集中力を授業で発揮するしかありません。ノートを同時に2冊とる、漢字や単語を覚えるプリントや単語帳をその場でやる、待っている間に問題を解く・・・居眠りをしている場合ではないでしょう。

生徒にとって、クラブも、趣味も、友達も、学校行事も、とても大切なものです。簡単には奪わずに、しかし奪わない代わりに、勉強をしてもらうというスタンスで接するのがのぞましいと思います。

自己管理を！

こうしたことの訓練は、本校では、

- ① 目標達成シート
- ② 模試分析シート
- ③ 有言実行シート
- ④ 手帳



といった指導を通じて行っています。大学受験は、中学受験や高校受験と異なり、一般的な範囲やレベルどころか、科目選択や特殊な入試など多岐に渡り、予備校の専門的な教員さえ、全てを把握することは不可能です。

これから社会に出ていくことを考えてみても、自らの課題を自ら見つけ、解決方法を考えられるようにしていきたいところです。学年目標に、「世界に目を向け、社会に貢献するための自分自身の土壌を作る。」～自分を取り巻く環境に「気づく」ことから「視野を広げ」、自己研鑽しながら未来へ成長する～と「世界に目を向け」「社会に貢献するための土壌作り」ということを掲げていますが、そのために「気づく」「視野を広げる」のための意識づけは、きめ細かく行ってきたつもりです。是非、今後ともご理解いただき、こうした指導にご協力いただければと思っています。

Classi(クラッシー)導入について

昨年度から学年全体で受験サプリを導入し、試験前の課題提示や長期課題などに活用してきました。本年度は学年全体として、Classi(クラッシー)：Webによる進路・学習支援システムを活用します。これはベネッセが立ち上げたサービスで、生徒一人ひとりの習熟度(本校で実際に受験した模試の結果)と個々の目標に応じた学習内容の管理を行うことができるものです。

PC・タブレット・スマートフォンなど様々な機器から利用ができますので、ご家庭のネット環境や本人の生活に合わせた活用をすることが可能です。模擬試験の事前・事後指導やセンター試験対策に対応するコンテンツも豊かで、総合・LHRを通じて積極的に活用したいと考えています。

なお、昨年度まで活用していた受験サプリ(スタディサプリに名称変更)については、希望者向けの取りまとめを行います。これにより、団体申込み割引が受けられます。詳細はスタディサプリ ENGLISH を含めて、別紙にてご案内致します。



芝浦工業大学推薦入学候補者の選考について

○選考方法について

1. 選考基準

生活・学業・人物のあらゆる点で本校生徒としてふさわしい者
次の条件を満たさない者は推薦されない。

I 理系を選択している者。

ただし、履修した科目により、進学できる学科に制限がある。

A 数学

数学Ⅲを履修した者。ただし、システム理工学部生命科学科については3年次数学ⅡB演習履修者でも構わない。

※生命科学科生命医工学コースは数Ⅲ履修がのぞましい。

B 理科

3年次の理科の選択によって、以下の学科に出願できる。

物理・化学選択者…全ての学科に出願できる。

生物・化学選択者…応用化学科・材料工学科・生命科学科・数理科学科に出願できる。

物理選択者…応用化学科を除く全ての学科に出願できる。

化学選択者…応用化学科・材料工学科・生命科学科・数理科学科に出願できる。

生物選択者…生命科学科に出願できる。

II 全教科の3カ年の評定平均が100段階で50以上の者。

III 3年次12月の時点で欠点がない者。

IV 学校から特別指導を2回以上受けたことのない者。

V 3年次12月の時点で欠時1/10超過が1科目もない者。

次の条件を満たさない者は推薦されないことがある。推薦される場合には、その基準を大きく下回ってはならない。

VI 各学年末において、特に理由なき欠席・遅刻・早退の合計が10回を超えない者。

VII 数学・理科・英語、3カ年の評定平均の3教科平均が100段階で60以上の者。

2. 志望学科の選択

工学部11学科とシステム理工学部5学科とデザイン工学部1学科（3領域）より、
第3志望を限度に選択する。

3. 選考について

①高校3年次12月に行われる卒業試験の英語（コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現）、数学（数Ⅲ、又は数学演習（農看））、理科の各教科の成績の合計

②高校3年間の評定の合計

①に関しては、推薦希望者中における英数理各教科の偏差値平均の合計数字（ α ）

②に関しては、各学年の評定の推薦希望者中における偏差値を合計した数字（ β ）

を採用し、これらの合計数字（ $\alpha + \beta$ ）をもとに選考を行う。

また選考に際して、次の各項を考慮あるいは参考とする。

I 出願する学科への明確な志望意識を持ち、学科への適性に優れていること。

II 学校生活において、委員会活動・部活動などに真摯に取り組んだこと。

III 3年間皆勤または精勤の者。

4. 二期募集

工学部11学科とシステム理工学部5学科とデザイン工学部1学科のいずれかに欠員が生じた場合募集が行われる。その場合の選考は3.の選考方法に準じて行うが、筆記試験と面接を実施する。

筆記試験は英語、数学、理科で、数学はシステム理工学部生命科学科については、数学ⅡBまでの内容。他の学部学科は数学Ⅲまでの内容とする。理科については、

工学部応用化学科は化学指定。システム理工学部生命科学科は物理、化学、生物から1科目選択。他の学部学科は物理、化学より1科目選択。

面接試験は学科の志望理由などを中心に言い、これを重視する。

今後の予定

4月16日(土) 中3・高2・3 保護者会(授業あり)

18日(月)~23日(土) 面談週間(40分授業)

21日(木) 歯科検診

27日(水)・28日(木) 球技大会

5月20日(金) 合唱祭

*その他、本日も配りします「年間予定表」をご覧ください。

欠席・遅刻の連絡

学年の直通電話は 04-7174-4097で今までと変わりません。

2年生から始業時間が変わるため、8時05分から25分の間に連絡をお願いします。

『夢実現のための十則』

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰返し、失敗を繰返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。